

大切な人のため、自分自身のために



新型コロナ

ワクチン 接種のご検討を

3回目接種により発症予防効果や重症化予防効果を高めることができます。ワクチンの種類を選ぶよりも早めの接種で予防効果を高めましょう。

接種の必要性

- 新型コロナワクチンは、発症予防効果や重症化予防効果がある一方、それらの効果は時間の経過に伴い、徐々に低下することが報告されています。
- 3回目の接種により、低下したワクチン効果を高めることができるという、臨床試験や様々な疫学研究の結果が報告されています。
- オミクロン株に対しても1・2回目の接種による効果は時間の経過により低下しますが、3回目の接種で回復することが報告されています。

1・2回目の接種とは異なるワクチンを使用する 交互接種について

現在、3回目接種には、ファイザー、モデルナ、ノババックスの3種類のワクチンの使用が承認されています。1・2回目の接種に用いたワクチンの種類にかかわらず、どのワクチンを使用しても十分な効果等が確認されています。

3回目の接種の時期について

2回目接種日から、ファイザー、モデルナは5か月後、ノババックスは6か月後から接種が可能です。

3回目の接種による副反応について

接種後の副反応として、接種部位の痛み、頭痛、倦怠感、筋肉痛などが報告されていますが、ほとんどが数日以内で回復します。ごくまれに、アナフィラキシー（急性のアレルギー）が起こることがあります。

ただし、接種後数日たっても症状が残る場合や不安を感じる方は、接種を受けた医療機関・かかりつけ医等の医療機関の他、下記相談センターにご相談ください。

ワクチン接種相談センター

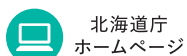
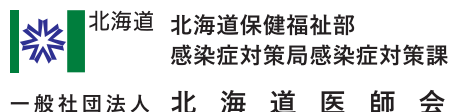
TEL:0120-306-154【受付時間】9:00~17:30(平日・土日・祝日)

※接種の予約・手続きの方法については、お住まいの市町村にご相談ください。

1・2回目のワクチン接種がまだの方も引き続き接種ができますので、ぜひワクチン接種をご検討ください。

接種に当たっては、感染症予防等のメリットと副反応等のデメリット双方について、正しい知識を持っていただいた上で、ご自身の意思で接種をご検討ください。
ワクチン接種は強制ではなく、接種を受けていない方に対する不当な差別・偏見はあってはならないものです。

ワクチンに関する正確な情報等については、以下のホームページ等からご覧になれます



ワクチンを3回接種しても、基本的な感染対策は必要です。

引き続き、マスク着用・手指の消毒等、新型コロナウイルス感染症対策へのご協力をお願いします。